

正田純一	プロバイオテイクスの転写因子賦活化による腸管環境と機能の改善, それによる生活習慣病関連肝疾患の発症予防	ヤクルト・バイオサイエンス研究財団 年報	21	159-169	2013
田中喜代次, 蘇 リナ, 小野塚太郎, 正田純一	加速度トレーニングを含む減量介入が肥満者の健康・体力に及ぼす影響	臨床スポーツ医学	30	565-569	2013
Oh S., Kim M, Eto M, Kim B, Shoda J, Tanaka K.	New approach for obesity treatment incorporating individual self-management education.	J Obesity & Weight Loss Therapy		In press	2013
Seto K, Uchida F, Warabi E, Yanagawa T, Miyoshi E, Shoda J, Bukawa H.	Negative expression of <i>N</i> -acetylglucosaminyltransferase V in oral squamous cell carcinoma correlates with poor prognosis.	Springerplus	2	657	2013
Seto K, Shoda J, Horibe T, Warabi E, Yanagawa T, Bukawa H, Kawakami K.	Interleukin-4 receptor α -based hybrid peptide effectively induces antitumor activity in head and neck squamous cell carcinoma.	Oncology Report	29	2147-2153	2013
Harada H, Warabi E, Yanagawa T, Okada K, Uwayama J, Bukawa H, Mann G, Shoda J, Ishii T, Sakurai T.	Deficiency of p62/Sequestosome 1 causes hyperphagia due to leptin resistance in the brain.	J Neuroscience	33	14767-14777	2013
Oh S, Tanaka K, Warabi E, Shoda J.	Exercise training decreases elevated serum ferritin and lipid peroxidation marker levels in middle-aged obese men with non-alcoholic fatty liver disease.	Medicine & Science in Sports & Exercise	45	2214-22	2013
Matsuda A, Kuno A, Matsuzaki H, Kawamoto T, Shinkai T, Nakanuma Y, Yamamoto M, Ohkohchi N, Ikehara Y, Shoda J, Hirabayashi J, Narimatsu H.	Glycoproteomics-based cancer marker discovery adopting dual enrichment with Wisteria floribunda agglutinin for high specific glyco-diagnosis of cholangiocarcinoma.	J Proteomics	85	1-11	2013
Onuki K, Sugiyama H, Ishige, K, Kawamoto T, Takeuchi K, Onizawa K, Yamamoto M, Miyoshi E, Shoda J.	Expression of <i>N</i> -acetylglucosaminyltransferase V in the subserosal layer correlates with postsurgical survival of pathological tumor stage 2 carcinoma of the gallbladder.	J Gastroenterol		In press	
Okada K, Ma D, Warabi E, Morito N, Akiyama K, Murata Y, Yamagata K, Bukawa H, Shoda J, Ishii T, Yanagawa T.	Amelioration of cisplatin-induced nephrotoxicity in peroxiredoxin I-deficient mice.	Cancer Chemother Pharmacol	71	503-509	2013
Spaniel C, Honda M, Selitsky SR, Yamane D, Shimakami T, Kaneko S, Lanford RE, Lemon SM.	microRNA-122 Abundance in Hepatocellular Carcinoma and Non-Tumor Liver Tissue from Japanese Patients with Persistent HCV versus HBV Infection.	PLoS One	8(10)	e76867	2013

Miyahara K, Nouse K, Morimoto Y, Takeuchi Y, Hagihara H, Kuwaki K, Onishi H, Ikeda F, Miyake Y, Nakamura S, Shiraha H, Takaki A, <u>Honda M</u> , Kaneko S, Sato T, Sato S, Obi S, Iwadou S, Kobayashi Y, Takaguchi K, Kariyama K, Takuma Y, Takabatake H, Yamamoto K ; Okayama Liver Cancer Group, Yamamoto K, Morimoro Y, Takeuchi Y, Miyahara K, Hagihara H, Kuwaki K, Onishi H, Nakamura S, Shiraha H, Nouse K, Takuma Y, Takabatake H, Morimoto Y, Fujioka S, Osawa T, Kariyama K, Toshimori J, Kobashi H, Miyatake H, Iwadou S, Kobayashi Y, Uematsu S, Okamoto R, Araki Y, Tatsukawa M, Yabushita K, Shimoe T, Sakaguchi K, Sakata T, Kaneyoshi T, Miyashita M, Makino Y, Moriya A, Ando M, Baba N, Seno T, Nagano T, Takaguchi K, Matsumoto E, Takayama H.	Pro-angiogenic cytokines for prediction of outcomes in patients with advanced hepatocellular carcinoma.	Br J Cancer	109(8)	2072-2078	2013
Zeng SS, Yamashita T, Kondo M, Nio K, Hayashi T, Hara Y, Nomura Y, Yoshida M, Hayashi T, Oishi N, Ikeda H, <u>Honda M</u> , Kaneko S.	The transcription factor SALL4 regulates stemness of EpCAM-positive hepatocellular carcinoma.	J Hepatol	60(1)	127-134	2014
Higashimoto M, Sakai Y, Takamura M, Usui S, Nasti A, Yoshida K, Seki A, Komura T, <u>Honda M</u> , Wada T, Furuichi K, Ochiya T, Kaneko S.	Adipose tissue derived stromal stem cell therapy in murine ConA-derived hepatitis is dependent on myeloid-lineage and CD4+ T-cell suppression.	Eur J Immunol	43(11)	2956-68	2013
Seki A, Sakai Y, Komura T, Nasti A, Yoshida K, Higashimoto M, <u>Honda M</u> , Usui S, Takamura M, Takamura T, Ochiya T, Furuichi K, Wada T, Kaneko S.	Adipose tissue-derived stem cells as a regenerative therapy for a mouse steatohepatitis-induced cirrhosis model.	Hepatology	58(3)	1133-42	2013

Hodo Y, <u>Honda M</u> , Tanaka A, Nomura Y, Arai K, Yamashita T, Sakai Y, Yamashita T, Mizukoshi E, Sakai A, Sasaki M, Nakanuma Y, Moriyama M, Kaneko S.	Association of Interleukin 28B genotype and hepatocellular carcinoma recurrence in patients with chronic hepatitis C.	Clin Cancer Res	19(7)	1827-37	2013
Komura T, Sakai Y, <u>Honda M</u> , Takamura T, Wada T, Kaneko S.	ER stress induced impaired TLR signaling and macrophage differentiation of human monocytes.	Cell Immunol	282(1)	44-52	2013
<u>Honda M</u> , Yamashita T, Yamashita T, Arai K, Sakai Y, Sakai A, Nakamura M, Mizukoshi E, Kaneko S.	Peretinoin, an acyclic retinoid, improves the hepatic gene signature of chronic hepatitis C following curative therapy of hepatocellular carcinoma.	BMC Cancer	13	191	2013
Ueda T, <u>Honda M</u> , Horimoto K, Aburatani S, Saito S, Yamashita T, Sakai Y, Nakamura M, Takatori H, Sunagozaka H, Kaneko S.	Gene expression profiling of hepatitis B- and hepatitis C-related hepatocellular carcinoma using graphical Gaussian modeling.	Genomics	101(4)	238-48	2013
Shirasaki T, <u>Honda M</u> , Shimakami T, Horii R, Yamashita T, Sakai Y, Sakai A, Okada H, Watanabe R, Murakami S, Yi M, Lemon SM, Kaneko S.	MicroRNA-27a regulates lipid metabolism and inhibits hepatitis C virus replication in human hepatoma cells.	J Virol	87(9)	5270-86	2013

V. 班員名簿

班 員 名 簿

	名前	所属	職名
研究代表者	坪内 博仁	鹿児島市立病院	院長
研究分担者	石橋 大海	国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター	客員研究員
研究分担者	恩地 森一	済生会今治医療福祉センター	センター長
研究分担者	中沼 安二	金沢大学大学院医学系研究科 形態機能病理学	教授
研究分担者	國土 典宏	東京大学大学院医学系研究科 臓器病態外科学	教授
研究分担者	持田 智	埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科	教授
研究分担者	滝川 一	帝京大学医学部 内科	主任教授
研究分担者	錢谷 幹男	東京慈恵会医科大学大学院医学研究科 器官病態・治療学	教授
研究分担者	上本 伸二	京都大学医学研究科外科学講座 肝胆膵・移植外科	教授
研究分担者	井戸 章雄	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学	教授
研究分担者	森 満	札幌医科大学医学部 公衆衛生学講座	教授
研究協力者	森實 敏夫	日本医療機能評価機構	客員研究主幹
研究協力者	海老沼浩利	慶應義塾大学医学部 消化器内科	専任講師
研究協力者	松崎 靖司	東京医科大学茨城医療センター 消化器内科	病院長・教授
研究協力者	大平 弘正	福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内科	教授
研究協力者	中牟田 誠	国立病院機構九州医療センター 消化器内科	医長
研究協力者	鈴木 義之	虎の門病院分院 臨床検査部	部長
研究協力者	吉澤 要	国立病院機構信州上田医療センター地域医療教育センター	部長
研究協力者	井上 和明	昭和大学藤が丘病院 消化器内科	准教授
研究協力者	竹原 徹郎	大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学	教授
研究協力者	鈴木 一幸	盛岡大学 栄養科学部	教授
研究協力者	藤澤 知雄	済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科	顧問
研究協力者	市田 隆文	順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科	教授
研究協力者	森脇 久隆	岐阜大学大学院医学研究科 消化器病態学	教授
研究協力者	坂井田 功	山口大学大学院医学系研究科 消化器病態内科学	教授
研究協力者	向坂彰太郎	福岡大学医学部 消化器内科	教授
研究協力者	西原 利治	高知大学医学部 消化器内科学	教授
研究協力者	廣原 淳子	関西医科大学 内科学第三講座	准教授
研究協力者	上野 義之	山形大学医学部 内科学第二（消化器内科学）講座	教授
研究協力者	下田 慎治	九州大学大学院医学系研究院 病態修復内科学	講師
研究協力者	菊池健太郎	帝京大学医学部附属溝口病院 第四内科	准教授
研究協力者	森 俊幸	杏林大学医学部 消化器・一般外科	教授
研究協力者	柳野 正人	名古屋大学大学院医学研究科 腫瘍外科	教授
研究協力者	佐田 尚宏	自治医科大学 消化器・一般外科、鏡視下手術部	教授
研究協力者	田妻 進	広島大学病院 総合内科・総合診療科	教授
研究協力者	八坂 貴宏	長崎県上五島病院 外科	院長
研究協力者	露口 利夫	千葉大学大学院医学研究院 消化器・腎臓内科学	講師
研究協力者	正田 純一	筑波大学医学医療系 医療科学	教授
研究協力者	江川 裕人	東京女子医科大学 消化器外科	臨床教授
研究協力者	前原 喜彦	九州大学大学院 消化器・総合外科学	教授
研究協力者	本多 政夫	金沢大学大学院 病態検査学講座	教授
研究協力者	山本 和秀	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・肝臓内科学	教授
研究協力者	内山 和久	大阪医科大学 一般・消化器外科	教授
研究協力者	海野 倫明	東北大学大学院医学系研究科 消化器外科学	教授
研究協力者	青柳 豊	新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学	教授
研究協力者	横須賀 收	千葉大学大学院医学研究院 消化器・腎臓内科学	教授
研究協力者	福井 博	奈良県立医科大学 第三内科	教授
研究協力者	汐田 剛史	鳥取大学大学院医学系研究科 遺伝子医療学部門	教授
研究協力者	岡本 宏明	自治医科大学医学部 感染・免疫学講座ウイルス学部門	教授
研究協力者	中本 安成	福井大学医学部 第二内科	教授
研究協力者	織田 成人	千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学	教授
研究協力者	渡部 則彦	京都大学大学院医学研究科 消化器内科学講座	非常勤講師
研究協力者	荒田 慎寿	横浜市立大学	特任准教授
事務局担当者	桶谷 真	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学	講師
経理事務担当者	秋月 大輔	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科等総務課経理係	係長

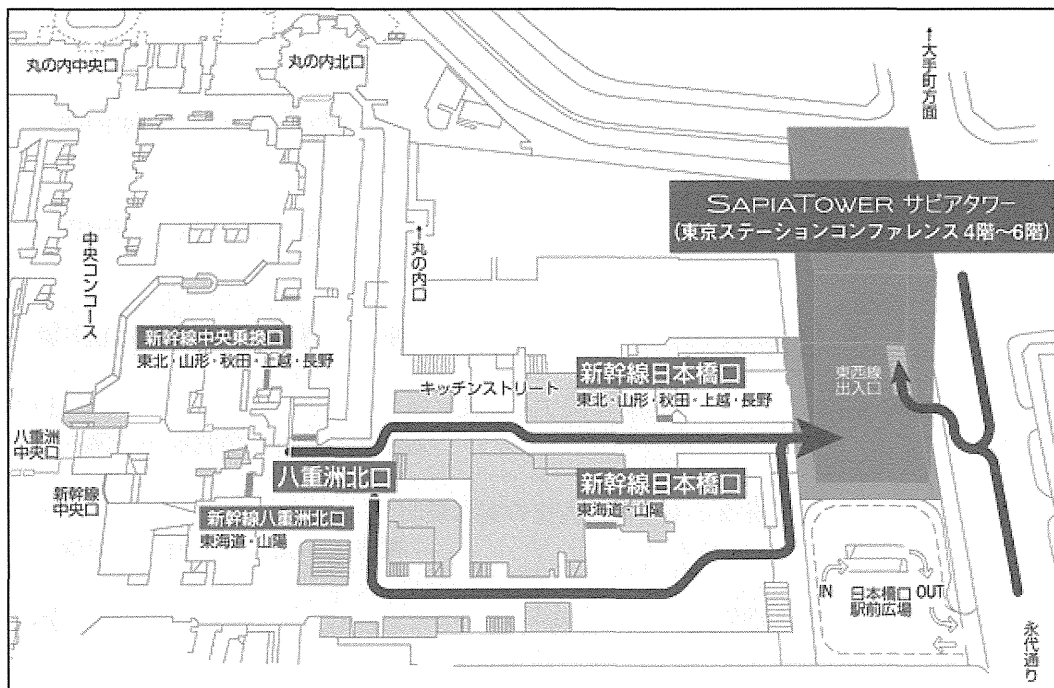
VI. 平成25年度班会議總會プログラム
公開成果報告会プログラム

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患克服研究事業)平成25年度
平成25年度 第一回総会 プログラム

研究代表者 坪内 博仁 (鹿児島大学大学院 HGF 組織修復・再生医療学講座)

日 時：平成25年6月27日(木) 10：00～16：10
劇症肝炎分科会 10：10～11：25
自己免疫性肝炎分科会 11：25～12：45
原発性胆汁性肝硬変分科会 13：25～15：00
肝内結石症分科会 15：10～16：10

会 場：東京ステーションコンファレンス 6階602BCD
(東京都千代田区丸の内1-7-12) TEL (03)6888-8080



JR 東京駅新幹線専用改札口(日本橋)より徒歩1分、八重洲北口改札口より徒歩2分
東京メトロ東西線大手町駅より徒歩1分 ※お車でお越しのお客様はビル内の駐車場をご利用ください。

平成25年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業
(難治性疾患等克服研究事業)「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」
事務局：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学
井戸 章雄, 桶谷 真 (秘書: 古城・平吉)
〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

1. 開会の辞

研究代表者：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 HGF 組織修復・再生医療学講座

坪内 博仁

2. 本年度の各分科会

※演題発表は、質疑応答をふくめて5分です。円滑な会の進行のご協力をお願い申し上げます。

劇症肝炎分科会	10：10～11：25	スライド受付	9：00～9：45	をお願いします。
自己免疫性肝炎分科会	11：25～12：45	スライド受付	9：00～11：00	をお願いします。
原発性胆汁性肝硬変分科会	13：25～15：00	スライド受付	11：00～13：00	をお願いします。
肝内結石症分科会	15：10～16：10	スライド受付	11：00～14：30	をお願いします。

I 劇症肝炎分科会（10：10～11：25）

司会：持田 智

<全体研究>

1. ①全体研究 急性肝不全の全国調査（2012年の発症例）

②ワーキンググループⅠ WG-1における今年度の課題

③急性肝不全の予後予測システム

10：10～10：20

埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科 持田 智

2. ワーキンググループⅡ B型肝炎ウイルスキャリアの急性増悪による重症肝炎に対する

早期免疫抑制療法の劇症化予防に関する調査研究

10：20～10：25

山口大学大学院医学系研究科 消化器病態内科学 坂井田 功

3. ワーキンググループⅢ 急性肝不全に対する人工肝補助療法の展望

10：25～10：30

千葉大学大学院 腫瘍内科学 横須賀 收

<個別研究>

1. 急性肝不全における Prothrombin index slope の有用性

10：30～10：35

鹿児島大学大学院 HGF 組織修復・再生医療学講座 坪内 博仁

2. 劇症肝炎に対する肝移植

10：35～10：40

東京大学大学院医学系研究科 肝胆膵外科・人工臓器移植外科 國土 典宏

3. 急性肝障害の成因別の重症化要因とその対策に関する研究

10：40～10：45

岩手医科大学 消化器・肝臓内科 鈴木 一幸

4. リツキシマブ投与による B型肝炎ウイルス再活性化の実態解明

10：45～10：50

岐阜大学大学院 消化器病態学 森脇 久隆

5. 劇症肝炎に対する脳死肝移植の動向

10：50～10：55

順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科 市田 隆文

6. 急性肝不全に対する免疫抑制療法とその課題

10：55～11：00

千葉大学大学院 腫瘍内科学 横須賀 收

7. Fas 型劇症肝炎発症の分子機構の解析

11：00～11：05

大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 竹原 徹郎

8. 肝再生における微小環境に関する研究

11：05～11：10

鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学 井戸 章雄

9. ヒト iPS 細胞の肝細胞分化誘導

11：10～11：15

鳥取大学大学院 遺伝子医療学部門 汐田 剛史

10. 骨髄由来間葉系細胞と脂肪由来間葉系細胞の違いに関する機能評価 11:15-11:20
山口大学大学院医学系研究科 消化器病態内科学 坂井田 功
11. 劇症肝炎内科治療の意義 11:20-11:25
昭和大学藤が丘病院 消化器内科 井上 和明

II 自己免疫性肝炎分科会 (11:25~12:45)

司会: 恩地 森一

<全体研究>

1. 病態解析ワーキング ①自己免疫性肝炎の診断・治療指針 11:25-11:35
②自己免疫性肝炎の診療ガイドライン作成
福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内科 大平 弘正
2. 診断ワーキング 診断ガイドライン作成の進捗状況 11:35-11:40
東京慈恵会医科大学大学院医学研究科 器官病態・治療学 消化器内科 銭谷 幹男
3. 治療ワーキング 自己免疫性肝炎の治療指針・治療ガイドラインの作成 11:40-11:45
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・肝臓内科学 山本 和秀

<個別研究>

1. 急性発症型自己免疫性肝炎の臨床像 11:45-11:50
済生会今治医療福祉センター 恩地 森一
2. 自己免疫性肝炎再発因子の解析 11:50-11:55
国立病院機構信州上田医療センター 吉澤 要
3. 自己免疫性肝疾患における miRNA 発現病態 11:55-12:00
東京慈恵会医科大学大学院医学研究科 器官病態・治療学 消化器内科 銭谷 幹男
4. 自己免疫性肝炎例における抗 PCK2抗体に関する研究 12:00-12:05
福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内科 大平 弘正
5. 自己免疫性肝炎診断法のエビデンス統合 12:05-12:10
公益財団法人 日本医療機能評価機構 森實 敏夫
6. 自己免疫性肝炎の病態と治療への応用 12:10-12:15
慶応義塾大学医学部 消化器内科 海老沼浩利
7. 肝細胞における MHC クラス II 分子発現と肝細胞傷害 12:15-12:20
新潟大学大学院 消化器内科学 青柳 豊
8. 自己免疫性肝炎の診断における抗 PD-1抗体の有用性 12:20-12:25
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・肝臓内科学 山本 和秀
9. 自己免疫性肝疾患における転写抑制因子に関する研究 12:25-12:30
福井大学医学部 第二内科 中本 安成
10. 新たに確立した動物モデルを用いた自己免疫性肝炎の病態解明と新規治療法の開発 12:30-12:35
京都大学大学院 消化器内科 渡部 則彦
11. 自己免疫性肝炎に対する UDCA 療法の解析 12:35-12:40
虎の門病院分院 臨床検査部 鈴木 義之
12. 小児期の AIH と PSC オーバーラップ例の検討 12:40-12:45
済生会横浜市東部病院こどもセンター 藤澤 知雄

昼食12:45-13:25
お弁当をご用意いたします。

Ⅲ 原発性胆汁性肝硬変分科会 (13:25~15:00)

司会：中沼 安二

<全体研究>

1. 疫学ワーキング 原発性胆汁性肝硬変全国調査 13:25-13:30
関西医科大学 内科学第三講座 廣原 淳子
2. 病因・病態ワーキング ① PBC の病態形成におけるフラクタルカインの関与 13:30-13:40
② PBC での IgG4 関連疾患合併の実態調査
金沢大学大学院医学系研究科 形態機能病理学 中沼 安二
3. 治療ワーキング ベザフィブラート前向き研究の追跡調査 13:40-13:45
帝京大学医学部 内科 内科 滝川 一
4. 診療ガイドラインワーキング 診療ガイドラインワーキング今年度計画-英語版の作成 13:45-13:50
国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター 石橋 大海
5. 抗 gp210 抗体の有用性の検証ワーキング 原発性胆汁性肝硬変の疾患感受性遺伝子による病態の解明
~日本人 PBC - GWAS 共同研究~ 13:50-13:55
国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター 中村 稔

<個別研究発表>

1. 原発性胆汁性肝硬変全国調査 13:55-14:00
関西医科大学 内科学第三講座 廣原 淳子
2. 原発性胆汁性肝硬変の臨床調査個人票に関する解析 14:00-14:05
札幌医科大学医学部公衆衛生学講座 森 満
3. PBC 患者肝におけるトランスポーターの変化~トランスポーターの変化と臨床応用 14:05-14:10
福岡大学医学部 消化器内科 向坂彰太郎
4. PBC 肝移植後長期成績全国調査 14:10-14:15
東京女子医科大学 消化器外科 江川 裕人
5. 原発性胆汁性肝硬変の長期予後予測のためのバイオマーカーの同定 14:15-14:20
国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター 石橋 大海
6. 硬化性胆管炎全国調査の二次調査 14:20-14:25
帝京大学医学部 内科 滝川 一
7. PBC の免疫病理学的研究 14:25-14:30
金沢大学大学院医学系研究科 形態機能病理学 中沼 安二
8. PBC における自然免疫から獲得免疫に至る胆管破壊の機序 14:30-14:35
九州大学大学院医学系研究院 病態修復内科学 下田 慎治
9. コリントランスポーター OCT1 の発現調整機構の検討 14:35-14:40
国立病院機構九州医療センター 消化器内科 中牟田 誠
10. PBC における脂質代謝の検討 14:40-14:45
東京医科大学茨城医療センター 松崎 靖司

11. 高度脂肪肝における Kupffer 細胞の活性化とその制御 14:45-14:50
高知大学医学部 消化器内科学 西原 利治
12. PDC-E2アミノ酸置換 peptide に対する AMA 反応性 14:50-14:55
帝京大学医学部附属溝口病院 第四内科 菊池健太郎
13. 病型特異的な PBC バイオマーカー探索についての基礎的検討 14:55-15:00
山形大学医学部内科学第二講座 上野 義之

休憩15:00-15:10

IV 肝内結石症分科会 (15:10~16:10) 司会: 中沼 安二

<全体研究発表>ワーキンググループ総括

1. 疫学・予後調査ワーキング 肝内結石症全国調査-新規横断調査- 15:10-15:15
杏林大学医学部 消化器一般外科 森 俊幸
2. 診断治療ワーキング 肝内結石診療ガイドライン作成に向けて 15:15-15:20
広島大学病院 総合内科・総合診療科 田妻 進
3. 発癌ワーキング ①肝内結石症からの発癌:バイオマーカーを用いた探索
②肝内結石症からの多段階発癌プロセス:肝吸虫発癌モデルへの応用 15:20-15:30
金沢大学大学院医学系研究科形態機能病理学 中沼 安二
4. 発癌予知ワーキング 肝内結石症の画像診断-肝内胆管癌合併症例の画像診断- 15:30-15:35
自治医科大学 消化器一般外科 佐田 尚宏

<個別研究発表>

1. 胆道再建の既往を有する肝内結石症の検討 15:35-15:40
名古屋大学大学院 腫瘍外科 椰野 正人
2. 肝内胆管癌疑陽性症例調査 15:40-15:45
杏林大学医学部 消化器一般外科学 森 俊幸
3. 胆道再建術後肝内結石症に対する内視鏡的治療 15:45-15:50
千葉大学大学院医学研究院 腫瘍内科学 露口 利夫
4. 肝内結石症からの発癌に関する研究 15:50-15:55
金沢大学大学院医学系研究科 形態機能病理学 中沼 安二
5. 肝内胆管障害に関する因子とその調節機構 15:55-16:00
広島大学病院 総合内科・総合診療科 田妻 進
6. 胆管癌の新規糖蛋白質マーカーの開発と簡易測定キットによる測定 16:00-16:05
筑波大学大学院人間総合科学研究科 スポーツ医学 正田 純一
7. 肝内結石症の疫学的研究~上五島地域における有病率の変化について~ 16:05-16:10
長崎県上五島病院 八坂 貴宏

事務連絡

研究報告書作成について
会計処理について

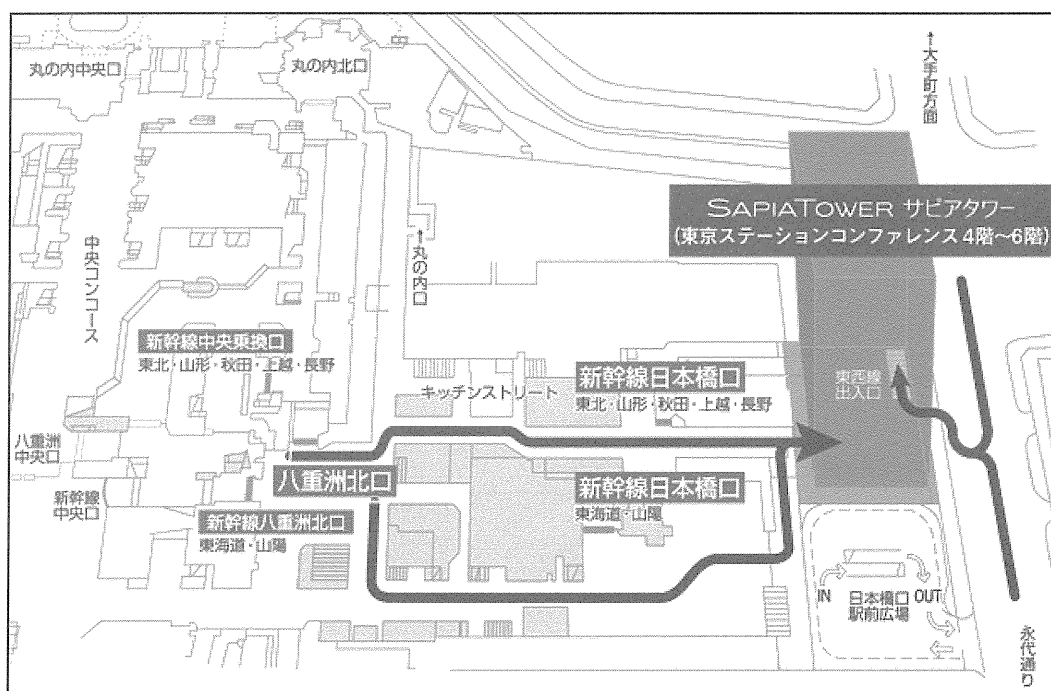
事務局

閉会の辞

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業
 (難治性疾患克服研究事業) 「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」
 平成25年度 第二回総会 プログラム

研究代表者 坪内 博仁 (鹿児島市立病院 院長)

日時：平成25年12月19日 (木) 10:00~16:20
 20日 (金) 10:00~16:00
 会場：東京ステーションコンファレンス 6階602BCD
 (東京都千代田区丸の内1-7-12) TEL (03)6888-8080



JR 東京駅新幹線専用改札口 (日本橋) より徒歩1分、八重洲北口改札口より徒歩2分
 東京メトロ東西線大手町駅より徒歩1分 ※お車でお越しのお客様はビル内の駐車場をご利用ください。

12月19日 (木)	劇症肝炎分科会	10:15~13:40
19日 (木)	自己免疫性肝炎分科会	13:40~16:20
20日 (金)	原発性胆汁性肝硬変分科会	10:00~13:40
20日 (金)	肝内結石症分科会	13:40~16:00

平成25年度 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業
 (難治性疾患克服研究事業) 「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」
 事務局：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学
 井戸 章雄, 桶谷 真 (秘書：古城・平吉・是枝)
 〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8-35-1

【第一日目】

1. 開会の辞
研究代表者：鹿児島市立病院 院長 坪内 博仁
2. 厚生労働省健康局疾病対策課 ご挨拶
3. 本年度の各分科会

I 劇症肝炎分科会 (10:15~13:40)

司会：持田 智

<全体研究発表>

1. ①急性肝不全と遅発性肝不全の全国集計 (2012年発症例)
②ワーキンググループI 急性肝不全の成因分類
③個別研究 急性肝不全の予後予測：統合ハイブリットモデルの有用性
10:15-10:40
埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科 持田 智
2. ワーキンググループII B型肝炎ウイルスキャリアの急性増悪による重症肝炎に対する早期免疫抑制療法
の劇症化予防に関する調査研究 (後ろ向き研究)
10:40-10:50
山口大学大学院医学系研究科 消化器病態内科学 坂井田 功
3. ワーキンググループIII 急性肝不全に対する人工肝補助療法についての提言：OLHDF, HFCHDFによる
覚醒率向上の認識とその全国標準化の必要性
10:50-11:00
千葉大学大学院 消化器・腎臓内科学 横須賀 収

<個別研究発表>

1. 急性肝不全における Prothrombin index slope の有用性
11:00-11:10
鹿児島市立病院 坪内 博仁
 2. Fas型劇症肝炎におけるアポトーシス誘導機構の解明
11:10-11:20
大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 竹原 徹郎
 3. 早期搬送システム確立後の肝炎重症化要因の検討
11:20-11:30
岩手医科大学 消化器・肝臓内科 鈴木 一幸
 4. リツキシマブ投与によるB型肝炎ウイルス再活性化の実情
11:30-11:40
岐阜大学大学院 消化器病態学 森脇 久隆
 5. 劇症肝炎に対する肝移植
11:40-11:50
東京大学大学院医学系研究科 肝胆膵外科・人工臓器移植外科 國土 典宏
 6. 脳死肝移植待機リストからみた劇症肝炎患者の現状
11:50-12:00
順天堂大学医学部附属静岡病院 消化器内科 市田 隆文
 7. 障害肝の再生・修復機構の解明
12:00-12:10
鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学 井戸 章雄
 8. ヒトiPS細胞の肝細胞分化誘導
12:10-12:20
鳥取大学大学院 遺伝子医療学部門 汐田 剛史
- 昼食12:20-13:00
お弁当をご用意いたします。
9. 骨髄由来間葉系細胞と脂肪由来間葉系細胞の違いに関する機能評価
13:00-13:10
山口大学大学院医学系研究科 消化器病態内科学 坂井田 功

10. 急性肝不全治療標準化にむけて（人工肝補助・ステロイドパルス） 13：10-13：20
昭和大学藤が丘病院 消化器内科 井上 和明

11. 急性肝不全における肝内および血中 ADAMTS13の動態 13：20-13：30
奈良県立医科大学 消化器・内分泌代謝内科 福井 博

12. B型急性肝不全に対する免疫抑制療法 13：30-13：40
千葉大学大学院 消化器・腎臓内科学 横須賀 収

II 自己免疫性肝炎分科会（13：40～16：20）

司会：恩地 森一

<全体研究発表>

1. 病態解析ワーキング ①自己免疫性肝炎の診療ガイドライン作成
②患者・ご家族のための自己免疫性肝炎ガイドブック作成 13：40-13：50
福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内科 大平 弘正

2. 診断ワーキング 診断指針改定と診断ガイドライン作成について 13：50-14：00
東京慈恵会医科大学大学院医学研究科 器官病態・治療学 消化器内科 銭谷 幹男

3. 治療指針の作成ワーキング AIH 診療ガイドラインの作成 14：00-14：10
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・肝臓内科学 山本 和秀

<個別研究発表>

1. 急性発症型自己免疫性肝炎の臨床像 14：10-14：20
済生会今治医療福祉センター 恩地 森一

2. 自己免疫性肝炎の再燃を繰り返す因子の解析 14：20-14：30
国立病院機構信州上田医療センター 吉澤 要

3. 自己免疫性肝炎における miRNA, mRNA 発現動態の検討 14：30-14：40
東京慈恵会医科大学大学院医学研究科 器官病態・治療学 消化器内科 銭谷 幹男

4. 自己免疫性肝炎例における抗 PCK2抗体に関する研究 14：40-14：50
福島県立医科大学 消化器・リウマチ膠原病内科 大平 弘正

休憩14：50-15：00

5. 自己免疫性肝炎診断における複数検査間の共分散調整感度およびエビデンス統合モデルの検討 15：00-15：10
公益財団法人 日本医療機能評価機構 森實 敏夫

6. 自己免疫性肝炎の病態解明と治療への応用 15：10-15：20
慶応義塾大学医学部 消化器内科 海老沼浩利

7. 肝細胞における MHC クラス II 分子発現と肝傷害 15：20-15：30
新潟大学大学院 消化器内科学 青柳 豊

8. 自己免疫性肝炎の診断における抗 PD-1抗体の有用性 15：30-15：40
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器・肝臓内科学 山本 和秀

9. 自己免疫性肝疾患における転写抑制因子に関する研究 15：40-15：50
福井大学医学部 第二内科 中本 安成

10. 新たに確立した動物モデルを用いた自己免疫性肝炎の病態解明と新規治療法の開発 15：50-16：00
京都大学大学院 消化器内科 渡部 則彦

11. 自己免疫性肝炎に対する UDCA 療法の解析 16:00-16:10
 虎の門病院分院 臨床検査部 鈴木 義之
12. 小児期発症 AIH の臨床的特徴 16:10-16:20
 済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科 藤澤 知雄

懇親会

【第二日目】

Ⅲ 原発性胆汁性肝硬変分科会 (10:00~13:40)

司会: 中沼 安二

<全体研究発表>

1. 疫学ワーキング 原発性胆汁性肝硬変全国調査 10:00-10:10
 関西医科大学 内科学第三講座 廣原 淳子
2. 病因検討ワーキング ① PBC の病因病態でのフラクタルカインの関与
 ② PBC と IgG4 関連疾患の合併 10:10-10:20
 金沢大学医薬保健研究域医学系 形態機能病理学 中沼 安二
3. 治療ワーキング ベザフィブラート投与 PBC 症例の長期予後の検討 10:20-10:30
 帝京大学医学部 内科 滝川 一
4. 診療ガイドラインワーキング 英語版ガイドラインの作成 10:30-10:40
 国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター 石橋 大海
5. 抗 gp210 抗体の有用性の検証ワーキング
 ① gp210 抗体測定の意味について
 gp210 ワーキング 多施設共同研究の総括
 ② 原発性胆汁性肝硬変の疾患感受性遺伝子による病態の解明
 日本人 PBC-GWAS 多施設共同研究の総括
 国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター 中村 稔
 10:40-10:50

<個別研究発表>

1. 原発性胆汁性肝硬変全国調査 10:50-11:00
 関西医科大学 内科学第三講座 廣原 淳子
2. 臨床調査個人票を活用した原発性胆汁性肝硬変の疫学的研究 11:00-11:10
 札幌医科大学医学部公衆衛生学講座 森 満
3. PBC 病態形成における Organic Cation Transporter 1 (OCT1) の関与 11:10-11:20
 国立病院機構九州医療センター 消化器内科 中牟田 誠
4. PBC 患者肝におけるトランスポーターの変化 11:20-11:30
 福岡大学医学部 消化器内科 向坂彰太郎
5. PBC 肝移植後長期成績施設研究 11:30-11:40
 東京女子医科大学 消化器外科 江川 裕人
6. 原発性胆汁性肝硬変の長期予後予測のためのバイオマーカーの同定 11:40-11:50
 国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター 石橋 大海
7. 硬化性胆管炎の全国調査 11:50-12:00
 帝京大学医学部 内科 滝川 一

昼食12:00-12:40
お弁当をご用意いたします。

8. PBCの障害胆管でのエネルギー代謝 12:40-12:50
金沢大学医薬保健研究域医学系 形態機能病理学 中沼 安二
9. 慢性非化膿性破壊性胆管炎における自己抗原提示の機序 12:50-13:00
九州大学大学院医学系研究院 病態修復内科学 下田 慎治
10. PBCにおける脂質代謝の検討 13:00-13:10
東京医科大学茨城医療センター 松崎 靖司
11. PBCにおけるKupffer細胞の活性化とその制御 13:10-13:20
高知大学医学部 消化器内科学 西原 利治
12. PDC-E2アミノ酸置換ペプチドに対するAMA反応性 13:20-13:30
帝京大学医学部附属溝口病院 第四内科 菊池健太郎
13. PBCに対する肝移植の現状 13:30-13:40
京都大学 肝胆膵移植外科 上本 伸二

IV 肝内結石症分科会 (13:40~16:00)

司会: 中沼 安二

<全体研究発表>

1. 疫学ワーキング 肝内結石症全国調査-新規横断調査- 13:40-13:50
杏林大学医学部 消化器一般外科 森 俊幸
2. 診断治療ワーキング 診療ガイドライン改訂に向けて 13:50-14:00
広島大学病院 総合内科・総合診療科 田妻 進
3. 発癌ワーキング 遺伝子異常の検討 14:00-14:10
金沢大学医薬保健研究域医学系 形態機能病理学 中沼 安二
4. 発癌予知ワーキング 肝内結石症の画像診断-肝内胆管癌合併症例の画像診断- 14:10-14:20
自治医科大学 消化器一般外科 佐田 尚宏

<個別研究発表>

1. 胆道再建の既往を有する肝内結石症の検討 14:20-14:30
名古屋大学大学院 腫瘍外科 柳野 正人
2. 肝内胆管癌偽陽性症例の調査研究 14:30-14:40
杏林大学医学部 消化器一般外科学 森 俊幸
3. 胆道再建術後肝内結石症に対する内視鏡的治療 14:40-14:50
千葉大学大学院医学研究院 消化器・腎臓内科学 露口 利夫

休憩14:50-15:00

4. 胆管癌発生とオートファジー 15:00-15:10
金沢大学医薬保健研究域医学系 形態機能病理学 中沼 安二
5. 胆汁中リゾリン脂質の胆管上皮細胞に対する細胞障害と発癌に関する検討 15:10-15:20
広島大学病院 総合内科・総合診療科 田妻 進

6. 胆管癌の新規糖蛋白質マーカーの開発と簡易測定キットによる測定 15:20-15:30
筑波大学医学医療系 医療科学 正田 純一
7. 肝内胆管癌における新規腫瘍マーカー候補遺伝子の同定 15:30-15:40
金沢大学 医薬保健研究域 本多 政夫
8. 肝内結石症の疫学的研究～上五島地域における有病率の変化について～ 15:40-15:50
長崎県上五島病院 八坂 貴宏
9. 肝内結石症に対する腹腔鏡手術 15:50-16:00
大阪医科大学 一般・消化器外科 内山 和久

事務連絡

研究報告書作成について

会計処理について

事務局

閉会の辞

※演題発表は、質疑応答をふくめて10分です。円滑な会の進行のご協力をお願い申し上げます。

劇症肝炎分科会	午前発表の先生	スライド受付	9:10～9:40にお願いします。
	午後発表の先生	スライド受付	9:10～12:00にお願いします。
自己免疫性肝炎分科会	発表の先生	スライド受付	10:00～12:30にお願いします。
原発性胆汁性肝硬変分科会	発表の先生	スライド受付	9:10～9:40にお願いします。
肝内結石症分科会	発表の先生	スライド受付	10:00～12:10にお願いします。

厚生労働科学研究費 難治性疾患克服研究事業
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究班
公開成果報告会
プログラム

日 時： 平成25年10月27日（日）
開会13：30（開場13：00）～閉会16：35
参加無料 事前申し込み不要 定員300名
場 所： NS スカイカンファレンス 新宿 NSビル30階
（〒163-0813 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号 TEL：03-3342-4920）

13：30～13：40

開会の辞・総合司会 研究代表者：坪内 博仁（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 客員研究員）
挨拶 金光 一瑛（厚生労働省疾病対策課）

I. 13：40～14：20

司会：恩地 森一（済生会今治病院医療福祉センター センター長）

I-1 自己免疫性肝炎の病態解明

演者：銭谷 幹男（東京慈恵会医科大学大学院医学研究科器官病態治療学 消化器内科 教授）

I-2 自己免疫性肝炎の治療の進歩

演者：山本 和秀（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科消化器・肝臓内科学 教授）

II. 14：20～15：00

司会：中沼 安二（金沢大学医薬保健研究域医学系態機能病理学 教授）

II-1 原発性胆汁性肝硬変の病態解明

演者：石橋 大海（国立病院機構長崎医療センター臨床研究センター 客員研究員）

II-2 原発性胆汁性肝硬変の治療の進歩

演者：滝川 一（帝京大学医学部 内科 教授）

休憩 15：00～15：15

III. 15：15～15：40

肝内結石症診療の進歩

司会：中沼 安二（金沢大学医薬保健研究域医学系態機能病理学 教授）

演者：田妻 進（広島大学病院 総合内科・総合診療科 教授）

IV. 15：40～16：05

劇症肝炎診療の進歩

司会：持田 智（埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科）

演者：井戸 章雄（鹿児島大学医学部医歯学総合研究科消化器疾患・生活習慣病学 准教授）

V. 16：05～16：30

難治性の肝・胆道疾患に対する肝移植療法

司会：江川 裕人（東京女子医科大学消化器外科 教授）

演者：國土 典宏（東京大学大学院医学系研究科肝胆膵外科・人工臓器移植外科 教授）

16：30～16：35

閉会の挨拶

201324028A (別刷 1/2)

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等克服研究事業

(難治性疾患克服研究事業)

難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究

平成25年度 総括・分担研究報告書

研究成果の刊行物・別刷

分冊 2 - 1

平成26 (2014) 年 3 月

研究代表者 坪内 博仁